

# カスリーン台風 と 越谷の治水の歴史

令和4年1月20日(木)  
10:00~12:00

講師:渡邊 和照氏(NPO 法人 越谷市郷土研究会 会長)

資料作成:秦野 秀明氏(NPO 法人 越谷市郷土研究会 副会長)

昭和22年(1947)9月の「カスリーン台風」による大洪水が発生して70年以上が経ちますが、水害は決して過去の話ではなく、現在を生きる我々にもつながる切実な問題でもあります。そのような過去から未来へとつながる話題を、スライドを使ってわかりやすくお話しいたします。

## トピック① カスリーン台風

濁流は都内へも到達!

「カスリーン台風」による大洪水の被害

越谷で被害を受けた方々の証言集

## トピック② 越谷の治水の歴史

「まな板」のように平らな地形!  
「水郷越谷」における治水の歴史

堤防が切れなくても水害が発生!  
「内水氾濫」による被害

対象 どなたでも 定員 40名(要申込) 参加費 無料

場所 越谷市市民活動支援センター 活動室

申込み・問合せ 越谷市市民活動支援センター  
☎:048-969-2750



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止または内容が変更になる場合があります。

※マスクの着用をお願いいたします。

